

会議等議事要旨記録票

日 時	令和3年9月2日（木曜日）午後4時00分から午後5時00分まで		
場 所	30S会議室（Web会議）		
会議等名	換気・室内感染対策タスクフォース		
議 題	新型コロナウイルス感染症における換気の重要性等について		
参 加 者	賀来座長、タスクフォースメンバー、福祉保健局関係部長・課長、総合防災部担当者等		
配付資料	なし		
主な内容	<p>●「新型コロナウイルス感染症における換気の重要性」についてプレゼンテーション</p> <p><主な内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央式空調および個別分散空調で行われる換気の紹介。 ・厚労省が2020年3月30日に『商業施設等における「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気について』を公表。「換気回数を毎時2回以上」としているが、30分に1回窓を開ければいいという意味ではなく、部屋の空気を30分に1回入れ替えるだけの換気が必要という意味だが誤解されやすい。 ・エアロゾルの沈降特性について、WHOは直径5μmより大きいものは落ち、それより小さいものは空気中に浮遊するとしている。「飛沫は落ちる」が常識だが、5μmの飛沫は30分程度、10μmでも10分程度空気中に滞在し、それ以下は空気中に浮遊する。これらを排出するためには換気は極めて有効。 <p>●「紫外線による感染症対策」についてプレゼンテーション</p> <p><主な内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・部屋の上部に水平照射し空間全体を対策できる「室上部水平照射式」、人がいない空間でも利用できる「対物照射式」、空間中の一部空気を殺菌する「吸気・排気式」、空調ダクトの中で殺菌する「インダクト式」等がある。 ・換気とともに、紫外線は感染症対策に効果があると言われている。 ・紫外線水平照射技術の実証試験では、高い効果を発揮している。紫外線をどう利用していくかが重要。 ・「JAMA (The Journal of the American Medical Association)」によると紫外線の室上部照射は1時間あたり24回の換気に相当する。 <p>●継続的な議論を行うにあたり、タスクフォース名称の変更について 新名称「換気・室内感染対策タスクフォース」とすることで、タスクフォースメンバーと合意。</p>		
作 成 者	計画課 板野	確 認 者	東京感染症対策センター担当 課長 宮崎